

# 朝日小学生新聞

【2011年11月16日付】

## 楽しく学ぼう 新聞教室

神奈川県横浜市の白幡小学校(児童数六百四十八人)は、国語や社会、総合的な学習の時間、スピーチの宿題など幅広く新聞を教材として使っています。五年二組は社会科の授業で、高齢者を支える情報ネットワークについて学ぶため、新聞記事から高齢者に関する情報を集めていました。

(市川 博正)

新聞記事をもとに情報と高齢者の関係をさぐろう。ちょっと難しいような授業のテーマを担任の田村拓之先生が黒板に書き出し

## 「高齢者」の情報集め学ぼう

### 記事を探してスクラップ



「高齢者」や「情報」に関する記事を探してスクラップしたり、大事な部分に線を引いたりする5年2組の子どもたち—どちらも神奈川県横浜市の白幡小で

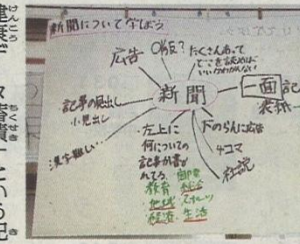
ました。授業のねらいは、新聞記事から情報やネットワークが高齢者の生活をどのように豊かにしているかを考えてもらうことです。

まず五年二組のみんなは大人の新聞の中から「情報」「ネットワーク」「高齢者」をキーワードに、高齢者や情報にかかわる新聞記事を探し出し、スクラップしました。その記事を田村先生が用意したプリントにはりつけ、記事の中で大切なところを線で引いたり、蛍光ペンをまわっていきま

ました。被災地では健康をくすす人も多くいるはずで、健康に関する情報が必ず

健康データ蓄積」という記事に注目。東日本大震災で被災した岩手県宮古市で、住民の健康情報をコンピュータにとりこみデータベース化して、引越した場所でもすまやかに治療が受けられるようにする取り組みを伝える記事でした。見出しには「高齢者」というキーワードはありませ

ふだんはテレビ欄と四コマまんがを見て、気になった記事に目を通すくらいという仁村真梨さんは「テレビだと難しいニュースは聞き流して終わりですが、新聞は内容が難しくても何度も見直せるから、じっくり考えて内容を読み解くことができるからいいと思います」。



教室内には、新聞の構成をとめた紙が掲示されています。要ではないかとい

第41回学校新聞コンクール作品展出品

クラスなどの団体でも個人でもOK。応募方法などは、朝小ウェブサイト(www.asaraku.com)へ。

本校は昨年度より、NIE (Newspaper in Education) の指定を受け、新聞を活用した様々な授業を展開しています。今回は5年生の社会科の授業で新聞を活用し、情報を集めました。実生活につながる豊かな学びの一つです。